



# 平成 30 年度 北上小学校区 第 2 回地域コミュニティ連絡会のまとめ



作成：三島市役所 地域協働・安全課 きずなづくり推進室 (TEL：055-983-2708)

10月9日(火)に開催された「平成30年度北上小学校区第2回地域コミュニティ連絡会」にご出席いただきまして、誠にありがとうございました。当日の発言や意見をまとめた資料ができましたので、送付いたします。(三島市のホームページにも掲載しています)

## ■開催概要■

日 時	平成 30 年 10 月 9 日 (火) 19:00~20:30		
会 場	北上文化プラザ		
参加団体 (13名)	芙蓉台自治会 荻町内会 徳倉第6町内会 私立しらゆり幼稚園	私立ピーターパン幼稚園 北上中学校 学校支援地域本部 体育振興会	徳倉八乙女会 民生委員・児童委員 北上地域包括支援センター 三島市社会福祉協議会

## ■次第■

開会・市長あいさつ

- 1 「コミュニティ連絡会について」
- 2 「地域の情報を共有しよう」
- 3 「現在の状況を確認しよう」
- 4 「地域でできることを考えよう」
- 5 「話し合いの内容発表」
- 6 「アンケート記入」



## 「地域の情報を共有しよう」のまとめ

各団体間の情報やお願いしたいことなどを共有しました。

### ■主な情報交換の内容

北上地区地域包括支援センター	11月6日に生涯学習センターで自立支援セミナーをします。受講料無料、予約不要です。ご参加ください。
芙蓉台自治会	芙蓉台は高齢化が進んでいて、役員が80歳以上の方もいます。今後認知症の人が担う可能性もあるため、役員会で方針を出していく必要があると考えています。避難所を開設した時の12~13名のリーダーによる体制づくりを今年中にやりたいと考えています。
徳倉八乙女会	徳倉地区には70歳以上が約1,800名います。シニアクラブの会員は34名から今年度65名になりました。町内会長との連携を密にして見守りを進めています。
体育振興会	先日の北上小学校校区祭は雨だったが約600名の参加がありました。11月末にはノルディックウォーキング、2月にはグランドゴルフ大会を予定しているのご参加ください。
北上中学校	11月22日に北上中学校で初めてのPTAバザーをやります。みなさん来てください。
徳倉第6町内会	体育館での運動会は今後のモデルとなったと思います。地域によっては子どもの数も年齢もバラツキがあるので、運動会のあり方を考えてみてはどうでしょうか。八乙女会の売店では中学生が完売してくれました。地域を担う人材が育っていると感じました。
私立しらゆり幼稚園	再来年の建て替えに向けて10月から工事が始まります。
私立ピーターパン幼稚園	今後、餅つき大会、中学校に避難する避難訓練があります。地域の方に助けていただく機会も多いと思います。宜しくお願いします。
萩町内会	今月、60~70名が参加する敬老会があります。

## 「地域でできることを考えよう」のまとめ

今回の連絡会のテーマである「三島市のごみ量の現状と将来の目標」と「多くの住民・団体が関わる自主防災活動について」のうち、各参加者が希望するテーマを1つ選択し、各テーマに分かれて意見交換しました。

	<b>ごみ量の現状と将来の目標</b>
	<b>自主防災活動</b>

意見交換の結果の概要は次ページ以降に掲載しています。



## ■グループ別意見交換のまとめ

グループA

ごみ量の現状と将来の目標

現在行っている、ごみ減量のための取組

さらにごみを減らすために何ができるか

### 現在の取組み

#### ■リサイクルを心がけている

- ・古紙などはリサイクルに回している
- ・リサイクルで子ども会の資金になる
- ・公民館に持って来てくれればいいが重い

#### ■子ども会の回収には効果がある

- ・町内放送をして回収を知らせている
- ・子ども会が資源回収し、各戸を回っている

#### ■違反ゴミは困る

- ・所（ところ）、番地を書くことで違反ゴミが減った
  - ・効果はあった
- ⇒ゴミをだした人がわかるようにする

#### ■掛川市との違いを研究

- ①ゴミのカウントの仕方
  - ②プラの回収への関心の高さ
  - ③住民の意識が高い
- ⇒データに基づく分析が大切



### 何ができるか

#### ●リサイクル回収の工夫

- ・家の前に出してくれれば回収できるようにしたい

#### ●市民の啓発を工夫する

- ・“15年ある”と安心している？

#### ●交流者のゴミを減らす

#### ●意識の問題へ

- ・ゴミの意識が低いと感じる

#### ●社会全体の意識を変える

- ・二重包装をやめてほしい

#### ●ゴミステーションの問題を話し合いたい

## 現在の防災訓練の参加状況

## 多くの住民・団体が関わるには？

## 現在の取組み

## ■ 幼稚園、訓練実施中

- ・(しらゆり) 自園では園内で月 1 回訓練実施地区の訓練には職員の代表が参加
- ・(ピーターパン幼稚園) 園内の避難訓練を原則として月 1 回行い、地域の防災訓練には日程が合わず参加できていない
- ・(ピーターパン幼稚園) 引き渡し訓練を年 1 回実施

## ■ 中学校の地区への訓練参加

- ・地区に生徒ボランティア参加
  - ・避難所運営で北上中(芙蓉台)が生徒ボランティアで参加
- ⇒中学生の参加者増加
- ・中学生の役割が決まっていると参加率アップ
- ⇒参加証をもらうために参加している学生もいる

## ■ 役員しか参加しない

- ・地域の役員で参加(組長、防災委員、その他)自主参加者は少ない

## ■ マンネリ化

- ・毎回同じなので、なにかもう少し的を絞った内容に力を入れる
- ⇒毎年内容を変えて実施
- ・参加状況を良くするため、毎年主とする内容を変えて興味を持ってもらう
  - ・組長さんに事前に集まってもらい、その時にやることを学んでもらう

## ■ 継続性がない

- ・組長は毎年交代わるので継続しない

## ■ 高齢化が急速に進行

## ■ 老人会でリストづくり

- ・(民生委員) 要支援者のリストを持っているが、災害時しか開けられない
- ・徳倉区 2 校(徳倉小、北上小) 防災訓練について、老人会の定例会で話し合う
- ・老人会 65 名、町内役員 5 名、町内会長 5 名、老人会 10 名で組織表作り班長が会長に連絡する

## ■ 住民以外のことを考える

- ・新幹線、高速道路使用できない
- ・観光客の行き場がない
- ・観光客のことも考えないといけない

## ■ きずなが弱くなった

- ・住民同士のコミュニケーションが少なくなっている

## 関わっていくためには

## ● 芙蓉台の取組み

## ● 支援ボランティア

- ・無事を確認したら黄色いリボンを玄関に掲示
- ・主な居住空間を支援者に知らせておく
- ・要支援者に対し、支援者 2 人が付く
- ・中学生も要支援ボランティアに協力

## ● 自分の命を守る

- ・まずは自分の命を守る
- ・備蓄しても命を守らないと意味がない

## ● 次世代に引き継ぎ

- ・これまでのノウハウをしっかりと引き継ぐことが大切

## ● 中高生に役割を！

## ● 幼稚園を住民に開放

- ・幼稚園が地域の人の受け入れに協力できるかも
- ・できる範囲で住民に幼稚園を開放

## ● 隣近所のコミュニケーション

- ・まずは隣近所で助け合う
- ・いざという時の為に普段からのつながり

## ● 幼稚園と中学校が連携

- ・幼稚園と中学校が協力して対応
- ・中学生が幼稚園児に対してできることもある